

国土交通省 独立行政法人評価委員会（第5回）議事要旨

1.日 時：平成16年2月23日（月）10：00～12：00

2.場 所：国土交通省（11階特別会議室）（東京都千代田区）

3.出席者：別紙のとおり

4.議 題

「国土交通省所管独立行政法人の業務実績評価に関する基本方針」の改定について

「国土交通省所管独立行政法人の役員退職金に係る業績勘案率について」の決定及び「分科会の議決をもって委員会の議決とすることができる事項について」の改定について

平成16年度発足予定の国土交通省所管独立行政法人の概要について（総務省）政策評価・独立行政法人評価委員会意見について

中期目標期間終了時の評価について

その他

5.議事概要

冒頭、国土交通省山本政策統括官より挨拶

議事

「国土交通省所管独立行政法人の業務実績評価に関する基本方針」の改定について

「国土交通省所管独立行政法人の業務実績評価に関する基本方針」の改定については、事務局案が了承されたが、次の意見があった。

総合評価の評定として、「順調」のような表現ではなく、A、B、Cのように記号化した方が評価結果として分かり易いのではないか。

「国土交通省所管独立行政法人の役員退職金に係る業績勘案率について」の決定について

「国土交通省所管独立行政法人の役員退職金に係る業績勘案率について」は、事務局案が了承され決定されたが、以下の意見等があった。

役員への賞与にも、業績を反映する仕組みが必要ではないか。

退職金には、法人の業績だけでなく、役員個人の業績も反映させる必要があるのではないか。

「分科会の議決をもって委員会の議決とすることのできる事項について」の改正について

「分科会の議決をもって委員会の議決とすることのできる事項について」の改定については、事務局案が了承された。

平成16年度発足予定の国土交通省所管独立行政法人の概要について

事務局より新設法人の概要について説明した後、奄美基金の業務について質問があった。

(総務省) 政策評価・独立行政法人評価委員会意見について

事務局より、政策評価・独立行政法人評価委員会意見につき説明した。

中期目標期間終了時の評価について

事務局より中期目標期間終了時の評価に関する手続きについて説明した後、次のような意見等があった。

研究機関などは、現在の中期目標期間より長期の目標を据える必要があるのではないか。

法人自ら次期中期目標を検討する動きがある。中期目標は主務大臣が指示するものではあるが、こうした法人の積極的な取組みを汲むような取扱いについて検討して欲しい。

現在の独立行政法人制度では、財務の自由度が低く、自律的な経営が困難である。法人化の趣旨を踏まえて、法人の裁量を確保するためどういった障害を取り除く必要があるのか検討して欲しい。

現在の中期目標期間の評価を踏まえながら、次の中期目標・計画案について議論すべきではないか。

【問い合わせ先】

政策統括官（政策評価担当）付政策評価官室 金子・平野

電 話：03 - 5253 - 8111（内線53402・53413）

F A X：03 - 5253 - 1674

第5回国土交通省独立行政法人評価委員会委員出席者名簿

(敬称略・50音順)

委員長	木村	孟	大学評価・学位授与機構長
委員長代理	杉山	武彦	一橋大学副学長・一橋大学大学院商学研究科教授
委員	会田	一雄	慶應義塾大学総合政策学部教授
〃	五十嵐	日出夫	北海道大学名誉教授
〃	池上	詢	福井工業大学工学部教授
〃	石原	研而	中央大学理工学部教授
〃	後	千代	東邦学園大学経営学部助教授
〃	岡田	恒男	東京大学名誉教授
〃	小山	健夫	東京大学名誉教授
〃	椎貝	博美	筑波大学名誉教授
〃	鳶	信彦	ジャーナリスト
〃	高木	佳子	弁護士
〃	田村	喜子	作家
〃	中村	玲子	政策研究大学院大学教授
〃	水町	守志	芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科教授
〃	盛岡	通	大阪大学大学院工学研究科教授
〃	山口	弘毅	(社)日本ツーリズム産業団体連合会理事
〃	山下	友信	東京大学大学院法学政治学研究科教授
臨時委員	加藤	俊平	東京理科大学工学部教授
〃	角	洋一	横浜国立大学大学院工学研究院教授